



生駒市立上中学校

校長室だより

第 2 号

平成30年5月25日

こんな学校をつくろう

『学校へ行くことが楽しいといえる学校』

これは、本校がめざす学校の姿です。学校は生徒の皆さんにとって「学びの場」です。自ら進んで、意欲をもって学ぶことで学習の内容もよく理解することができ、そこから学ぶことが楽しくなることがあります。また、人を思いやり尊重する、ぬくもりのある学級であれば自分のことを認めてくれる仲間がいると安心でき、学校へ行くことが楽しくなります。さらに、困難なことがあっても、あきらめず粘り強くチャレンジすることでうまくいけば自信をもつことができ、前向きな気持ちになり楽しくなります。たとえうまくいかななくても精一杯頑張ったことが自分を成長させてくれます。

生徒の皆さん一人ひとりにとって、「学校へ行くことが楽しいといえる学校」を皆さんと先生たちでつくりましょう。もちろん、保護者や地域の方々の方も借りてつくっていくのです。



修学旅行、校外学習を終えて

3年生は、16日から2泊3日の富士・東京への修学旅行、1,2年生は17日に伊賀、京都での体験と班活動を行いました。修学旅行や校外学習での体験はどうだったでしょうか。心に残る思い出ができたでしょうか。

修学旅行での3日間は天候にも恵まれ、バスで山梨県に入ると雄大な富士山の姿を間近に見ることができました。富士山ろくの体験では、溶岩によってできた洞くつを探検し、自然のもつ力を感じ取ることができたので

はないでしょうか。洞くつから出てきた皆さんは、達成感を味わったような充実した表情をしていました。2日目、3日目には、都内のビル群や国会議事堂、官公庁などを見ると、改めて東京は大都市であり首都であると実感したのではないのでしょうか。慣れない土地での班別行動は、まさに仲間との協調が大切であることを学ぶ場でした。

こうして修学旅行や校外学習を終えることができたのも、多くの方々の支えがあったことを忘れてはなりません。皆さんの家族もそうです。出発日に朝早くから皆さんを送り出し、夕方に帰宅したときは温かく迎えていただいたことを忘れずに、支えていただいた方々、お世話になった方々への感謝の気持ちをもってほしいと思います。



東京スカイツリー

体験を生かそう！！

修学旅行や校外学習では体験することがねらいではなく、体験を通して知ったこと、発見したことを振り返り考えることで学びをより深めることがねらいです。もう一つは体験を通して集団を意識した行動をする、周りの人のことを考えて行動することがねらいです。体験したことを次に生かすことが大切です。行事が終わった今、少しでも興味・関心をもったことを、このあとの学びにつなげてほしいと思います。そして、これからの生活の中で、時間を守り、周りの人のことを考えて行動する、そんな集団を意識した行動をしてほしいと思います。

熱中症を予防しよう

これから気温も上がり暑くなります。熱中症の予防のために①睡眠と朝食をきちんととり、体調を整えてください。②水分はこまめにとってください。運動しているときはもちろん、教室でものどが乾く前に給水をしてください。熱中症を予防して元気に過ごしてください。